



辻川だより

第5号 [2008 春号] 平成20年4月5日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujukawa/>



3/2 薬師堂(山口堂)案内板下に写真の道標を設置。鈴木雅文さんと駒田富男さんの合作です。



1/14とんど



福崎町の今後の計画から

区長 釜坂道弘

四月に入り、学校では新学期を迎え、町行政においても新年度を迎え予算が示されました。この中から地域に関係した部分を見てみると、昭和43年建築で老朽化した田原小学校(旧田原中学校)体育館の耐力度調査(耐震診断)が実施されます。今後は早急に建て替えの計画を田原地区の区長会を通じて要望することを各区長さんをお願いをして参りました。また、平成17年度に公有化し、常時公開が待たれている「三木家住宅」の修理・保存計画を策定するため、やっと800万円の予算が組まれました。地元としてもこの計画が進み、地域づくりに活用できる日が待たれます。その為にも地域のみなさまの協力が是非とも必要になります。今後共すばらしい地域づくりの為に協力をお願い致します。

協議委員会は今

2月と3月の定例協議委員会での報告事項や検討した内容を一部紹介します。

- ① 公民館下水道接続工事
- ② 辻川山麓区地一部払い下げ
- ③ 町内会費(世帯の定義)
- ④ 高藤稲荷の大鳥居修復
- ⑤ 上部派遣役員任期満了に伴う推薦
- ⑥ ごみ出しマナー対策
- ⑦ 歩道橋補強工事3月末終了予定。その周辺の堰溝にカードレール設置申請

お願い

★新「ミ」の収集について

回覧や放送でも度々お願いしていますが、一向に改善しません。ごみ袋に記名、施設の施錠、立ち番、違反ごみを調べ当事者を割り出す、等の意見が出されています。区民の良識と参画が問われています。ご協力を!

《当面の予定》

- 4月27日(日) 民俗(社)広場まつり(福崎町主催)
- 4月29日(祝) 運動会

お願い

昭和49年に始まった運動会も回を重ねて23回。2年後の次回に向けて、準備が簡単で選手も観客も楽しめる競技を大募集。当日、本部テントの『ご意見箱』へ。

5月 溝普請

6月 辻川山周辺整備事業

祭礼行事報告 「8隣保担当」

- ◇2月3日(日) 節分 年越祭
宮当番の祭事スタート。柴(齋)灯(さいとう)、みかんや御菓子の振舞い、消防団の協力:祭事を次世代につなぐ大切な村の風物詩です。
- ◇2月24日(日) 初午祭
例年にも増しての豪華景品に隣保の意気込みを感じました。赤飯のおむすびが美味しかった。雪のお稲荷さんで鳥居修復も併せて祝いました。



事業報告

◆1月19日(土) 新隣保長会議

- ① ブロック長の選出
- ② 町内会費徴収について
- ③ 2、4月行事・事業確認
- ④ 平成20年度補助事業要望について
- ⑤ 平成20年度地域づくり推進事業について
- ⑥ 平成20年度祭礼行事の予定について「8隣保」

◆2月3日(日) フラワーポット(ハンジー)植替え

◆2月23日(土) 人権・青少年健全育成自治会研修会

小雪舞つ寒さの中、48名の参加がありました。啓発映画鑑賞や教育委員会(城井先生)・福崎東中学(小林先生)との意見交換が行われました。映画『夕映えのみち』では、コンクール入賞を喜び友人の悪口をインターネットの掲示板に書き込んでしまい悩む娘に対しての父親の台詞「共に悲しむことはできても共に喜ぶことは難しい」が引っかかっています。

◆3月2日(日) 辻川山清掃

各隣保からの代表1名(主に隣保長さん)と協議委員で鈴の森神社周辺から山頂にかけての下刈りを行いました。



尚、当日、消防団は新しい器具箱の付け替えを行いました。

平成20年度辻川区役員一覧

4月から団体役員に一部変更(断)があります。「4/4現在」

区長 釜坂 道弘 4ブロック

副区長 内藤 政義 8 植岡 孝一 [9]

会計 鈴木 雅文 ◎ 9 渡辺 智 [18]

協議委員 新見 良一 (総務) 15 松井 永敏 [11]

鈴木 智久 (体育・広報) 20 大井 宣英 [13]

小谷喜多男 (霊園) 5ブロック 21 多田 裕之 [19]

堀 一夫 (環境) ◎ 16 木村 正一 [8]

上延 教泰 (文化) 17 増田 公紀 [12]

田崎 正和 (広報・体育) 18 狩野 英信 [11]

日下 博義 (環境) 19 山下 隆 [11]

釜坂 好隆 (土木) 〇 植田 登 (第2シフト)

宮島勇・有井登 井上和重 (第1シフト)

隣保長 (〇はブロック長) 只友靖雄 (第3シフト)

1ブロック [軒数] 女性部 狩野 洋子

1 池内 孝司 [12] 商工部会 駒田 富男

2 後藤 俊彦 [12] 農業部会 中村 武嗣

3 日下 博義 [24] 消防団 高橋 秀尚 〇

〇 14 大浦 克之 [9] 青年団 堀 伸一郎

2ブロック 小学PTA 大野 秀樹 〇

4 平岡 利昭 [7] 中学PTA 有井 政彦 〇

5 橋本 和義 [15] 〇 6 鈴木 省吾 [10] 〇 7 鈴木 隆正 [11]

3ブロック 補導委員 駒田富男

10 山本 英次郎 [50] 青少年健全育成委員 鈴木智久

11 松岡 務 [7] 体育普及委員 岡野晴行

◎ 12 藤沢 春雄 [8] 文化財協力委員 駒田富男

13 釜坂 好隆 [4] 人権教育推進委員 内藤義政

上延教泰

4月6日改選予定

団体役員 (代表のみ紹介)

老人会 植田 登 (第2シフト)

昭和初期の辻川界隈

後藤泰子さん(大正十五年一月十七日生まれ)に昭和七十二年頃(支那事変)日中戦争勃発(1937年)までの辻川のにぎわいと住民の暮らしぶりを寄せてもらいました。今年度辻川だより」の年4回シリーズとしてお届けします。

1 『神戸に住み、もうすぐ六十年。辻川のこと何かにつけて思い出され、都会にない伝統的な雰囲気や向学心のあるよい村だと感じています。辻川に生まれ、幸せに思っています。子ども頃、家の前を北条行きの乗合馬車を通り、幼い頃、乗った記憶があります。やがて乗合バスが定刻に通る、また、馬力車、荷車、牛車、自転車が行き来していましたが、あの頃、中学一年の母の弟がはるばる長目から馬に乗って来ました。当時は道もお互いに譲り合い、ゆったりしていたのだと思います。道路は土の道で埃っぽく祖母は毎日郵便局の裏の井戸水を汲み散水していました。北条の青野ヶ原演習場へ兵隊さんが重い*背囊はいのうを背負いザクザクと歩調を合わせ隊伍を組んで通ることもありました。また、兵隊さんが各家に一泊されたこ

ともありました。我が家は祖母がお菓子屋を営み、屋号は「かさや」と云いました。小さいながらも何でもありました。駄菓子は一銭で毎日近所の子供が来て買います。飴玉、げんこつ飴、動物ビスケット、せんべい・・・ガラスの蓋の木箱には生菓子のうす皮饅頭、六方焼、ひねり餅等が、ガラスケースにはグリコ、キャラメル、ドロップス、お好みあられ、乳ポーロ、酢昆布、肉桂、お茶菓子の煎餅、ラムネ菓子等が入っていました。また、すし海苔、小豆、干うどん、素麺、片栗粉、ラムネ水、うるめ丸干、かれの干物、塩、酢、醤油等も売っていました。砂糖は三益白、中白、黒砂糖、いずれも秤売りで、容器は持参でした。三益白は進物用に袋に入れ、のし、水引をして包装していました。半紙、ちり紙・・・季節毎にみかん、桃、ぶどう、芋(むし芋)、すもも、柿等ありました。天井には大人用・子供用の赤い鼻緒の藁(わら)でつりを吊るしてました。あの頃は下駄履きが多く、運動会では藁をつりをはいって走りました。

祖母は彼岸には「あんこのおはぎ」を沢山作り、私は重箱に入れて、祖母の使いで近所へ配りました。祖母は毎朝東の空に向かって柏手を打って拜んでいました。朝晩仏壇で手を合わせ、夜は正信偈、御文章を上げ、私も後ろに座り手を合わせ拜みました。秋の報恩講には福田の本覚寺さんが来られ、辻川の檀家の人が集まり、御経・法話を聞いた後、食事を供します。豆御飯は大豆を炒って箕(み)の上置き、五合杓の底でゴリゴリして割れたら御飯と炊きます。煮しめは上延の豆腐屋さんの三角の油揚げと小芋、人参、ごぼうを入れます。味噌汁、黒豆もありました。大人がすむと、近所の子供達を呼び、喜んで一緒に食べました。

風邪をひくと祖母が多田のうどん屋さんで好物のうどんを注文してくれました。家族が病気になる辻川山の裏の阜(おか)先生が畦道伝いに往診して下さいました。』・・・続く・・・

* 軍人などが物品を入れて背に負う方形のかばん

編集後記

先日、船津町大沢からバスに乗ってこられた高齢の方が「戦前は遊びに行くゆつたら、野里が辻川しかなかった」と話されています。その頃の賑わいを今年はお届けします。(田崎)